

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	男女共同参画推進事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	企画部	課等名	男女共同参画課		包含する細々目	1	2	1	7	10	1	
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり											
施策	25 共に歩む社会づくりの推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画条例等		飯田市男女共同参画推進条例及び参画計画 長野県男女共同参画社会づくり条例及び参画計画 男女共同参画社会基本法及び基本計画				
		事業期間	3	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	全市民	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			107844	107000			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	男女が対等に生きられる社会の実現と、男女を問わず、一人ひとりの個性と持っている能力を十分に発揮し、ともに責任を担い、共に歩む社会づくりに取り組む。	市議会議員、審議会等委員の女性の数	18目標	700	最終目標	1150	
		上記女性の登用率(%)	18実績	625	19目標	700	↑
		23目標		23実績		最終目標達成年度	
		18目標	30	最終目標	50		
		18実績	27.1	19目標	30	↑	
		23目標		23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	1 固定的な性別役割分担意識の解消 2 政策・方針決定等立案への男女の参画 3 男女がすべての場で、ともに活躍できる社会の実現 4 性の尊厳を確立し、健やかに暮らせる社会の形成 5 推進体制の充実	地域における男女共同参画の推進。地域自治組織への移行に向け、女性が積極的に地域づくりに参画するための意識啓発を図る。出前講座、市民のつどい、研修会等実施。 男女共同参画推進委員会の設置。推進委員会に広報部会設置。 男女共同参画計画の見直し作業。20年4月改訂に向け、市民意識調査、企業における実態調査実施。 女性団体活動の支援とリーダー育成。 推進委員会及び庁内推進委員会開催。	・講座等開催回数と参加者数(回・人) ・アンケート配布数と回答者数(人・社) ・委員会及び庁内委員会開催数(回)	・15回 1,800人 ・市民1000人(回収率56.1%)、企業1000社(回収率72.0%) ・14回
	18年度の実績			
	19年度計画	男女共同参画に関する積極的な広報活動 地域及び企業における男女共同参画の推進。出前講座、市民のつどい、研修会等実施。又男女共同参画を積極的に実践している団体・企業の表彰を行う。 男女共同参画計画の見直し作業及び第4次男女共同参画計画策定。 地域自治組織女性役員の支援・女性団体活動の支援とリーダー育成。 推進委員会及び庁内推進委員会開催。	・市広報紙への掲載件数と情報誌発行回数 ・講座等開催回数と参加者数、表彰数(回・人・件) ・作業実施回数(回) ・委員会及び庁内委員会開催数(回)	・市広報特集記事1回、通常2回。情報誌発行2回 ・15回 1,800人 表彰1団体1企業 ・12回

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定国庫支出金		
	特定県支出金		
	起債		
	その他	0	0
	一般財源	2,641	2,549
事業費計(A)	2,641	2,549	
人件費	正規職員所要時間	18年度 2,100	19年度 2,100
	臨時職員等所要時間	0	0
	人件費計(B)	7,510	7,510
	トータルコストA+B	10,151	10,059

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	互いに認め合い尊重される ・男女が互いに支え合い、それぞれの能力を発揮し、共に責任を担い、共に歩む社会づくりに取り組む。	日常生活の中で人権を尊重して行動している人の割合	現状値	42.1	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	50
	日常生活の中で人権尊重意識を持っている人の割合	現状値	91.1	19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標		95	

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
・多数の婦人活動家の熱い想いと積極的な働き掛けにより、平成3年4月教育委員会教育課に青少年婦人係が設置され、婦人行動計画研究会を発足した。	・平成4年度第1次「飯田市女性行動計画」策定 ・平成5年度教育委員会社会教育課に女性室設置 ・平成6年度は男女共同参画室を設置 ・平成9年度第2次「飯田市女性行動計画」策定 ・平成11年6月「男女共同参画社会基本法」公布、施行 ・平成13年4月総務部男女共同参画課設置 ・平成14年度第3次「飯田市男女共同参画計画」策定 ・平成14年12月「長野県男女共同参画社会づくり条例」公布、施行。 ・平成17年12月「飯田市男女共同参画推進条例」制定。国：男女共同参画基本計画(第2次)を決定	平成18年9月実施の男女共同参画に関する市民意識調査の意見から、自治会の意思決定の場に女性が極端に少ない。女性が参画できるような選出方法の検討を。女性が積極的に地域づくりに参画する意識改革が必要。女性は結婚・出産でやむなく退職。経済的自立を失う。子育て中の親の労働時間が異常に長い。企業の社会的責任や育児・介護の問題を改善する必要あり。 議会の意見 18年第4回定例会で、男女共同参画を進める上での課題について質問あり。男女共同参画の取り組みを積極的に行っている事業者の表彰や、男女共同参画の理解を深めるための積極的な取り組みを行うこととされた。

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 不可能 (その理由)
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 ・第4次男女共同参画計画をパブリックコメントを行いながら12月までに策定。平成20年1月に計画書及びダイジェスト版を作成。3月末までに、市広報等での広報、出前講座等実施し、第4次の計画の広報活動を行う。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	・計画を策定する過程に置いて、多くの市民、事業者、教育関係者等の意見・要望を伺う。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	